



令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年11月13日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部部長 (氏名) 芝田 浩実 TEL 06-6376-8088
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月13日 配当支払開始予定日 令和元年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	23,743	3.0	466	10.8	621	△3.1	487	35.2
31年3月期第2四半期	23,061	0.1	421	68.5	641	32.3	360	△9.4

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 364百万円 (7.4%) 31年3月期第2四半期 339百万円 (13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	51.88	—
31年3月期第2四半期	38.42	38.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	35,836	20,611	57.5
31年3月期	36,006	20,402	56.6

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 20,608百万円 31年3月期 20,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2年3月期	—	17.00	—	—	—
2年3月期（予想）	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	2.3	1,200	36.6	1,500	15.0	920	0.1	97.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期2Q	11,025,032株	31年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	1,615,234株	31年3月期	1,635,134株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期2Q	9,397,770株	31年3月期2Q	9,388,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として緩やかな景気回復基調にあるものの、東アジア圏内や中東での対立、英国のブレグジット・米中貿易摩擦などさまざまな問題の複雑化により先行きは予断を許さない状況となっております。また台風や集中豪雨など前期と同様、度重なる自然災害による大きな被害が発生し、日常生活におきまして全国的な影響を与えております。当社グループが属する「食」の分野でも、物流や食材価格、人件費の上昇傾向の中で、顧客獲得に向けた厳しい競争環境となっております。

このような環境の中、当社グループは、一貫して「食に対する安心、安全」へのこだわりをビジネスの中心に据えつつ、お客様のニーズにあった商品の開発強化とともにサービスの改善・提供を進め、当社グループの価値の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高237億43百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益4億66百万円（同10.8%増）、経常利益6億21百万円（同3.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億87百万円（同35.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

7月はたっぷり1/2日分の野菜を使用した野菜炒め弁当を発売、同時に「ほっかポイントアプリ」を使用した「肉×野菜スタミナアップキャンペーン」を実施いたしました。8月は夏のオードブルキャンペーンを実施し、今年もメインキャラクターにリラックマを使用した「オリジナルラウンドプレート」全4種を展開いたしました。9月には、ほっかほっか亭店舗でバーコード決済の導入を開始いたしました。海外2社を加えた9社のバーコード決済サービスが利用可能となり、さらなるお客さまの利便性向上に努めてまいりました。また、手作りのお弁当店だから出来る“揚げたての天ぷら”を使用した天井を販売、より広くお客様に認知いただけるよう、インターネット動画配信サービス内で活躍中のVTuber（ブイチューバー）「電腦少女シロちゃん」を起用した動画告知で新規のファン層へアプローチいたしました。

持ち帰り弁当事業は、売上高86億65百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益4億91百万円（同16.3%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、テナントオーナーのニーズを的確に捉え、企業価値を向上するために、自社運営サイトである「店通（てんつう）」を通して店舗業界に対する当社ブランドの浸透と当社サービスへの信頼感の向上に取り組んでまいりました。令和元年8月現在、運営サイトの月間の閲覧ユーザー数は50万人を超え、当社ブランドの浸透を着実に図っております。また、三大都市圏を中心に優良物件を積極的に仕入れる一方、低採算店舗の解約等による物件稼働率の向上を図り、利益の向上に努めてまいりました。さらに、既存ビルから店舗ビルへのコンバージョンや新築物件のマスターリース等により、物件の資産価値の向上についても推進してまいりました。

店舗委託事業は、売上高127億4百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益4億33百万円（同21.3%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、物件開発ビルオーナーのニーズを的確に捉え、資産価値を向上するための運用提案と各種サービスを積極的に展開してまいりました。当四半期の物件開発として、商業ビルを1棟建設・稼働いたしました。また、ビルの管理関連サービスに加え美容・医療のテナントオーナー等、従来の飲食業以外のテナントオーナー向けに物件のサブリースと業務コンサルティングによる収益機会の拡大に取り組みました。

店舗管理事業は、売上高3億64百万円（前年同四半期比20.1%増）、営業利益1億83百万円（同10.3%増）となりました。

④フレッシュベーカー事業

フレッシュベーカー事業においては、季節商品として夏には「パインデニッシュ」「クインシー（夏みかん&マンゴー）」、秋には「栗あんぱん」「マロンクーヘン」などを発売したほか、工場内では作業工程の見直しを行い、経費の削減・品質向上・販売強化に努めてまいりました。

フレッシュベーカー事業は、売上高6億22百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業損失22百万円（前年同四半期は営業損失40百万円）となりました。

⑤その他の事業

物流関連事業においては、物流業界の動向を敏感に察知し、適正コスト、適正物流を常に意識して、自主独立を目標にグループ外企業との取引拡大に取り組んでまいりました。また、製造部門では、平成29年に取得したFSSC22000の認証を維持し続け、安心安全な食の提供という食品業界の責任の一翼を担ってまいりました。

その他の事業は、売上高13億85百万円（前年同四半期比61.2%増）、営業利益38百万円（同56.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は358億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少しました。これは主に投資有価証券が減少したことによるものです。

負債合計は152億25百万円となり前連結会計年度末に比べ3億79百万円減少しました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

純資産は206億11百万円となり前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ59百万円増加して66億16百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10億16百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億39百万円、減価償却費4億42百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億82百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億2百万円、有形固定資産の売却による収入3億46百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6億74百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4億55百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月14日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,556	6,616
受取手形及び売掛金	1,479	1,460
商品及び製品	658	573
原材料及び貯蔵品	104	113
その他	917	949
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	9,701	9,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,148	5,324
機械装置及び運搬具(純額)	376	441
工具、器具及び備品(純額)	289	333
土地	10,942	10,864
リース資産(純額)	4	1
建設仮勘定	301	46
有形固定資産合計	17,062	17,012
無形固定資産		
借地権	458	464
のれん	2	0
その他	113	136
無形固定資産合計	574	600
投資その他の資産		
投資有価証券	2,038	1,926
長期貸付金	13	11
敷金及び保証金	5,639	5,662
繰延税金資産	605	600
長期未収入金	552	543
その他	396	333
貸倒引当金	△577	△550
投資その他の資産合計	8,669	8,527
固定資産合計	26,305	26,141
資産合計	36,006	35,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,056	1,897
短期借入金	716	692
1年内返済予定の長期借入金	885	855
未払金	935	1,034
未払法人税等	142	169
未払消費税等	58	140
賞与引当金	178	189
その他	1,783	1,804
流動負債合計	6,755	6,784
固定負債		
長期借入金	3,897	3,470
長期預り保証金	4,195	4,157
退職給付に係る負債	32	34
資産除去債務	401	411
その他	322	365
固定負債合計	8,849	8,440
負債合計	15,604	15,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,980	3,971
利益剰余金	14,712	15,030
自己株式	△2,297	△2,269
株主資本合計	20,431	20,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△161
その他の包括利益累計額合計	△37	△161
新株予約権	8	3
非支配株主持分	—	—
純資産合計	20,402	20,611
負債純資産合計	36,006	35,836

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）
売上高	23,061	23,743
売上原価	17,920	18,595
売上総利益	5,140	5,148
販売費及び一般管理費	4,719	4,681
営業利益	421	466
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	17
受取賃貸料	85	84
業務委託契約解約益	82	58
持分法による投資利益	—	11
その他	88	62
営業外収益合計	275	233
営業外費用		
支払利息	12	10
賃貸費用	17	40
業務委託契約解約損	4	—
持分法による投資損失	6	—
その他	14	27
営業外費用合計	55	78
経常利益	641	621
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	34	32
その他	3	3
特別利益合計	37	36
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	22	17
減損損失	35	0
その他	2	—
特別損失合計	59	18
税金等調整前四半期純利益	619	639
法人税、住民税及び事業税	160	147
法人税等調整額	99	4
法人税等合計	259	152
四半期純利益	360	487
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	360	487

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）
四半期純利益	360	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△124
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	1
その他の包括利益合計	△21	△123
四半期包括利益	339	364
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	339	364
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	619	639
減価償却費	410	442
のれん償却額	5	2
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
固定資産除却損	22	17
減損損失	35	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	13	△25
賞与引当金の増減額（△は減少）	30	11
受取利息及び受取配当金	△20	△17
支払利息	12	10
持分法による投資損益（△は益）	6	△11
売上債権の増減額（△は増加）	100	18
たな卸資産の増減額（△は増加）	△109	76
仕入債務の増減額（△は減少）	△165	△158
未払消費税等の増減額（△は減少）	△13	82
その他	45	3
小計	991	1,091
法人税等の支払額	△197	△182
法人税等の還付額	8	107
営業活動によるキャッシュ・フロー	802	1,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	20	18
有形固定資産の取得による支出	△617	△602
有形固定資産の売却による収入	95	346
無形固定資産の取得による支出	△396	△52
差入保証金の純増減額（△は増加）	16	63
その他	△41	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△12	△10
短期借入金の純増減額（△は減少）	269	△23
長期借入れによる収入	332	—
長期借入金の返済による支出	△819	△455
配当金の支払額	△169	△169
その他	11	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388	△674
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△509	59
現金及び現金同等物の期首残高	7,663	6,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,153	6,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。